

3. 志紀中学校区 八尾市の未来を語るタウンミーティング（開催日：平成20年11月28日）での意見への対応状況

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>① コミュニティセンター内のエレベーター設置について</p> <p>○ コミュニティセンターは2階建てで、階段しかありません。高齢化率が21%であり、今後さらに高齢化が進むと思いますので、エレベーターの設置をお願いします。</p>	<p>○ 施設の耐震化、バリアフリー化は大きな課題です。国は建物の耐震化を平成27年度までに90%実施を目標としています。また、市内の学校施設に対応するだけでも約250億円かかると試算しています。コミュニティセンターへの対応もしていきたいが、まずは災害時の避難所ともなっている小中学校の体育館と教室の耐震化を優先していきたいと考えています。</p>	<p>○ コミュニティセンターはコミュニティ活動や生涯学習の拠点施設であり、施設のバリアフリー化は耐震化とともに、市民の安全安心を確保する観点からも大変重要な取り組みと認識しており、順次取り組みを進めていきたいと考えております。</p> <p>中でも耐震化は市民の生命を守るという意味からも優先的に取り組む必要があると考えております。</p>
<p>② (1) 八尾空港について</p> <p>○ 騒音公害はあっても市民へ直結する利益がない施設です。空港があっても市民の利益になることがあってもよいと思います。たとえば、片道3,500~4,000円程度で、関西空港までの便の整備をしてもらえたらよいと思います。また、地下鉄の延伸もしてもらいたいと思います。</p>	<p>○ 八尾空港に隣接して大阪府中部広域防災拠点があります。府内に3つある拠点の一つです。災害時には、真っ先に八尾市に救援物資が届くというのは、メリットであると思います。</p> <p>○ 空港があると、騒音の問題もあるが、騒音の少ない飛行機も今後出てくるかもしれません。新たな空港の活用など出来ないかと考えています。</p>	<p>○ 空港につきましては、騒音などの問題がありますが、災害時の救援物資運搬等に必要な施設です。</p> <p>○ 空港の新たな活用方法については、今後検討していく必要があると考えています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>② (2) 八尾空港について(地下鉄延伸)</p> <p>○ また、地下鉄の延伸もしてもらいたいと思います。</p>	<p>○ 地下鉄の延伸につきましては、計画としては富田林までの延伸が残っていますが、凍結の状態にあります。</p>	<p>○ 地下鉄の延伸につきましては、引き続き要望してまいります。</p>
<p>③ 高齢者福祉について</p> <p>○ 元気な高齢者の方が、役割を発揮して社会に貢献できる場があれば、まさに活気がでると思います。</p>	<p>○ 高齢者の方が社会や地域に貢献できるようにすることは大切だと考えています。シルバー人材センターには仕事自体が少ないと思います。またシルバーリーダー養成講座も行っています。市民協働のまちづくりを一層進めたいと考えています。</p> <p>○ 地域包括支援センターは市直営が 1 箇所、民間設置で 5 箇所です。拡大する方向で検討しています。</p>	<p>○ 高齢者の中には、地区福祉委員会や高齢クラブ、民生委員・児童委員など、すでに地域の中で活躍している方がたくさんおられます。今後も地域の高齢者を支える活動を紹介したり、元気な高齢者が地域で困っている高齢者の相談窓口となり情報の提供や相談・助言を行うこと、地域でのレクリエーション活動やボランティア活動の企画・運営を行うことができるようシルバーリーダー養成講座を開催するなど人材の養成や組織作りを支援してまいります。</p>
<p>④ 子育て支援について</p> <p>○ 子育てをしています、働く女性は介護・子育てと忙しいです。ぜひ保育の充実、待機児童の解消をしてください。</p>	<p>○ 保育所に申し込んでも入所できない子どものうち、保護者の仕事の時間などで一定の要件を満たす子どもを待機児童としています。公立保育所の民営化などで、保育所への入所可能人数を拡大したいと考えていま</p>	<p>○ 保育所への待機児童を解消することは、保育行政の重大な課題と考えており、公立保育所の民営化をはじめ、私立保育所(園)の整備による定員増、分園設置や定員の弾力化等により入所可能人数の増加を図って</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<p>す。また、幼稚園の時間延長で対応していければとも考えています。</p> <p>○ 公立の幼稚園・保育所、私立の幼稚園・保育所が連携していくことで、就学前児童の環境改善を図っていきたいと考えています。</p>	<p>おります。これまでの取り組みにより待機児童は減少しておりますが、いまだ解消には至っていない状況にあります。</p> <p>また、今年度に児童福祉審議会を開催し、今後の保育需要を勘案しながら、保育所整備のあり方や、質の高い保育と教育の双方を提供する観点から幼保連携のあり方など、就学前児童を中心とする支援・施策の充実について検討いただく予定です。</p> <p>○ 幼稚園の保育時間延長については、現在は通常の保育時間終了後、預かり保育で対応をしております。預かり保育終了後の時間については、家庭での親子の絆を深めるための大切な家庭教育の時間であると考えており、現行の保育時間の設定となっております。</p>
<p>⑤ 市議会議員の定数について</p> <p>○ 市議会議員が多すぎるのではないのでしょうか。また、議員には定年がありませんし、民間の企業に勤めている人もおられますが、よいのでしょうか。</p>	<p>○ 私も市議会議員をしていましたが、その時の定数は 36 人でした。その後 34 人、32 人と減ってきています。また、地方自治法において、八尾市の規模であれば上限が 38 人と定められています。</p>	<p>○ 現在、地方議会に対しては、行政に対する監視力の強化や、より広範な市民意見の市政への反映などが期待されている中、議員定数については、地方自治法において議員定数の上限が定められており、八尾市の人</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市議会議員が職業を持つことについては、法的に問題はありません。 	<p>口規模の場合 38 人となっています。</p> <p>一方で、現在、議員定数削減等による経費削減効果も求められており、八尾市議会については、こうした流れを受け、市議会みずからが議会構成等調査特別委員会などを設置して検討が行われてきました。近年では議員定数を 34 人から 32 人に減じる条例が可決され、平成 19 年の一般選挙から新しい定数が適用されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市議会議員は非常勤特別職であり定年制度はなく、また職業を持つことは法的に問題はありません。
<p>⑥ まちの安全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近鉄バス志紀車庫の裏の緑地は、暗いので、防犯面で問題があると思います。土地を平坦にし、また防犯灯を増やして明るくできないでしょうか。他の町会では、防犯灯のワット数を上げるなど取り組んでいますが。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近鉄バス志紀車庫の裏の土地は府営住宅跡地の残地で、付近住民の方が清掃に取り組んでおられます。市では、このような活動に対し補助できるように、市民活動支援基金制度がありますので、活用していただければと思います。防犯灯については、周辺の町会の方と話し合いをしていただき、防犯灯を設置していただければ、市より補助していきたいと考えます。現在、市内の防犯 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の安全・安心のまちづくりについては、平成 14 年に制定いたしました「地域安全条例」において、市民・事業者・行政がそれぞれ主体的にその役割を担うということを定めており、その趣旨を踏まえて、防犯灯の新設及び取替えについては、町会が主体的に取り組むとともに、それにかかる費用並びに電気料金につきましても、町会で一定部分のご負担をいただくなど、その役

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<p>灯は約 19,000 本です。防犯灯を増やすことで犯罪の減少がはかられ、安全安心なまちづくりをめざしていきたいと考えています。</p>	<p>割を担っていただいているところであります。今後も、町会等のご協力のもと、安全安心のまちづくりに努めてまいります。</p> <p>なお、20Wから32Wへの照度アップの促進につきましては、平成17年に補助金要綱を改正し、町会の負担が軽減されるように努めたところです。</p>
<p>⑦ ボランティア活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月一回、独居老人のための給食ボランティアを行っています。活動の担い手が高齢化してきています。支援をしていただけないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアの取組みに感謝しています。活動状況などの情報を、コミュニティ推進スタッフへ伝えてほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代にもボランティア活動に参加していただけるように、ボランティア養成講座やボランティアセンターのより一層の周知に努め、地域での活動のきっかけ作りを行います。
<p>⑧ (1) 地域内の道路整備等について (防災アクセス道路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾空港の防災拠点などへの防災アクセス道路の整備の進捗状況を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路は課題として認識しています。消防署志紀出張所の所から大阪方面に住宅街を通らずに車が入り出できるよう、自衛隊の敷地などの協力により道路が整備できないか、府とも協議しています。自衛隊敷地にはライフラインの設備などがあり、すぐに 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災アクセス道路の整備については、平野川の改修とあわせて、大阪府・八尾市・自衛隊が連携して今後も検討を行っていきます。また、木の本田井中線については、整備に向けて色々課題がありますが、その中で大阪府の支援を頂けるよう協議している

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	対応できるものではありませんが、長期的なまちづくりの一環として考えていきたいと思えます。	ところです。
<p>⑧ (2) 地域内の道路整備等について (公有地の有効活用)</p> <p>○ 公有地の有効活用をしてもらいたいと思えます。無償で占拠しているところから土地の使用料を徴収すればよいと思えます。</p>	<p>○ 市の土地で、無償で占拠されている土地の件については、一定の時期までに何らかの対応ができるよう目処をつけたいと考えています。</p>	<p>○ 水路や里道等で機能が無くなったところについては、有効活用を図ったり土地の売却を行なっています。機能があるところでの不法占用物件については、適正な管理に向け是正指導を行っているところです。</p>
<p>⑨ 市立病院について</p> <p>○ 市立松原病院が来年 3 月末で閉院というニュースを見ました。八尾市立病院は大丈夫でしょうか。</p>	<p>○ 公立病院はどこも赤字の状態です。八尾市立病院の累積赤字は約 89 億円です。危機的状況の原因の一つに医師不足があります。市民医療を守るため、市立病院を潰すことはできないと考えています。また市立病院には、全国の名医 100 選に選ばれた医師もいるほどで、ぜひ、八尾市立病院を利用してください。</p>	<p>○ 市立病院の経営は厳しい状況にあり、経営の健全化は喫緊の課題となっております。そのため、将来にわたり公立病院として市民の負託に応えることができるよう、経営基盤の強化を目指し、平成 23 年度までに取組む内容と目標を定めた「八尾市立病院改革プラン」を平成 21 年 2 月に策定しました。今後も地域医療を守るため、健全な病院経営に努めてまいります。</p>
<p>⑩ 学校教育について</p> <p>○ 志紀地区は小中学校が単独のため、</p>	<p>(教育長)</p> <p>○ 地域の皆様には、日頃から児童・生徒の見</p>	<p>○ 小・中一貫教育校も各地でできており、一</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>そのまま繰り上がります。中学校・小学校・幼稚園・保育所が連携し一体となって教育に取り組んでもらいたいと思います。現状では、授業中に先生のことを聞けない子が多くなっています。志紀小学校は、児童数が多く、教職員も多いが、校長や教頭の負担が他の学校より大きいと思います。カウンセラーの設置、教職員の定員増を望みますが、これからの未来に向けて、志紀の子どもは、幼、小、中一貫教育するぐらいの心構えで教育に取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>守りにご協力いただいております、ありがたく思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 志紀地区では、小学校と中学校の交流が活発で、いきいきスクールという教師の交流をするなど、小学校・中学校の 9 年で子どもを育てる仕組みづくりに取り組んでいます。 ○ 教師が面白い授業をしないと、子どもは集中力が続かないということにつながります。子どもの学年があがることで解決していくこともありますが、子どもが社会で生きていく力をつけるためには本人・家庭・教師の協力が必要です。 ○ スクールカウンセラーは臨床心理士だが、各中学校で週一回活動しており、小学校にも行ってもらっている。学生サポーターや退職した校長などの協力を得て、集団を小さくして授業実施なども行っています。 	<p>定の成果もある様ですが、八尾の子どもたちにとって良い教育環境の中で学んでいくことができるように検討していきたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の充実のために、初任者研修をはじめ、さまざまな内容の研修を実施し、教職員としての資質と指導力の向上を図っています。 ○ 学習支援やクラブ活動の補助など、いろいろな方面で学生サポーターに活躍していただいています。また、スクールカウンセラーについては、中学校に週 1 回の配置を行っており、小学校の保護者や児童についても活用が可能となっています。